

開 会 挨拶

座長 中村 信一

開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

北陸地域連携プラットフォームでは、これまで「地方創生」をテーマとした議論などを行い、その結果を地域に向け発信してまいりました。

さて、日本国内では、コロナ5類移行後、経済社会活動の正常化が進んできましたが、国際情勢の緊迫化や海外景気の不透明化、円安等による物価上昇など、地域経済に影響を与える不確実な要素がなお存在します。そして、本格化する人口減少・少子高齢化による人手不足、潜在成長率の停滞などへの対応は、特に北陸において、引き続き大きな課題として残されています。

前回のプラットフォームにおいては、製造業における人手不足解消・生産性向上について議論しましたが、その中で「女性の活躍を推進すべき」との意見もあったように、女性活躍の推進は日本社会の喫緊の課題となっています。

こうした中、北陸については、女性の就業率は全国でもトップクラスに位置している一方で、女性の管理職比率は3県いずれも低水準となっているなど質的な面での活躍は十分でない傾向があり、このため、自らの能力を発揮できる職場を求めて女性が都会に流出してしまうという話をしばしば聞くところです。

先般、ノーベル経済学賞を受賞したハーバード大学の教授も、日本で女性の労働参加率が上昇していることを称賛しつつも「女性を労働力にするだけでは十分ではない」と述べ、更なる取組を求めています。

女性管理職比率の向上を含めた女性活躍の推進のほか、単なる環境的整備に留まらず、社会全体での意識改革に基づく取組が、地域活性化や持続可能な社会づくりにつながるものと考えられます。

本日は、北陸地域が今後さらに発展するために、女性が能力を発揮でき、男女問わず活躍できる環境を作り上げるためにはどうすべきか、などを中心に議論して頂けたらと思います。

メンバーの皆様には、積極的な御発言をお願いしまして、簡単ではありますが、座長挨拶といたします。

以上